

特定非営利活動法人 子育て応援団ゆうわ
平成29年度事業報告
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

I 運営に関する事項

1. 総会の開催

日時 : 平成29年5月14日 10:00～12:00

名取市市民活動支援センター

2. 理事会の開催

(5月・8月・9月・12月・2月 計5回開催)

3. 法人職員体制 (平成29年度)

(1) 子育て応援団ゆうわ事務局

事務局長 (業務委託及び指定管理事業事務員) : 鈴木 敏浩

(2) 児童センター及び小規模保育所 管理運営事業

指定管理及び業務委託運営管理事業 統括 : 齋藤 勇介

統括補佐 : 小林 陽子

<那智が丘児童センター> 指定管理事業

館長 (兼理事) : 田中 美江

主任児童厚生員 : 1名

児童厚生員 : 5名 補助員 : 2名 計9名

<増田児童センター> 指定管理事業

館長兼主任児童厚生員 : 久保 允

児童厚生員 11名 補助員2名 計14名

(増田児童センター ファミリーサポートセンター スタッフ含む)

<下増田児童センター> 業務委託運営事業

施設管理者 (兼理事長) 兼主任児童厚生員 : 齋藤 勇介

児童厚生員 10名 補助員1名 計13名

<本郷小規模保育所> 業務委託運営事業

施設管理者 (兼副理事長) : 小林 陽子

0歳児 3対1名 1・2歳児 6対1名 子育て支援事業 2名

フリー 1名 延長保育担当 1名 調理業務 2名

II 特定非営利活動に関する事項

大分類	事業名	小分類	事業内容
1	児童センター及び 小規模保育所管理運営事業	(1)	那智が丘児童センター指定管理事業
		(2)	増田児童センター指定管理事業
		(3)	下増田児童センター業務委託運営事業
		(4)	本郷小規模保育所業務委託運営事業
2	次世代育成事業	(1)	子育て支援者スキルアップセミナー
3	地域連携事業	(1)	他団体との連携・協力

1. 事業名 : <児童センター及び小規模保育所運営管理事業>

(1) 那智が丘児童センター指定管理事業

- ① 内容
- 実施日：通年実施
*日曜、年末年始(12月29日～1月3日)を除く
 - 実施場所：名取市那智が丘児童センター
常勤7名(臨時職員含む)
 - 受益対象者：0歳児から18歳までの児童及びその家族
放課後児童クラブ員(小学校1年生から6年生までの登録児童)

② 運営方針

- a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
- b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
- c. 異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
- d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e. 子ども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・組織的運動や遊びを集团的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - ・いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ・ルールを身につける。
 - ・異年齢との交流を深める(思いやり・協調性を養う)。
- b. 安全に過ごす・・・危機管理意識を持つ。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

子育てひろば (ぴよぴよハウス)	・育児の中で親子共に心安らげる場所を提供する。 ・育児についての不安や悩みを共有する。 ・月曜日～金曜日 9:00～16:30(祝日、年末年始を除く) ・年間利用者数は別表1参照。
ファミリー フェスティバル	・市内の子育て支援センターと連携し実施する子育て支援行事。 - 年間1回 ・高館あおぞら保育園子育て支援センターと連携し、実施している。
育児リフレッシュ (ぴよぴよティータイム・親子deヨガ)	・おしゃべりしながらちょっと一息。子育てリフレッシュや親同士の交流の機会に繋げる。(ティータイム)(年2回) ・ヨガを通して心も体もリフレッシュ(月一回)
遊びの広場 「ぴよぴよ広場」	・親子触れ合い遊びや集団遊びなどの活動を通じて、子どもとの関わり方、子育ての楽しさを伝えていく。 - 工作、クリスマス会など実施。 ・年間10回開催。
ぴよぴよファーム	・畑作りの活動を通じて、自然と触れ合う経験を促す。 - 年間 8回開催
子育て情報誌の発行 「piyopiyo」	・情報誌を通じて、子育てに関わる情報を地域へ伝える。 ・毎月1回発行

その他	○保健センター・那智が丘・増田・下増田児童センター連携事業 ・歯科指導：年間 2回実施 ・幼児食 Q&A：年 4回 ○高館保育所・那智が丘・増田・下増田児童センター連携事業 ・リフレッシュ講座：年 2回 ・親子で楽しむ：年 1回 ・子育て講座：年 2回 ○子ども支援課連携：情報紙「ちいさななかまたち」発行 ・メール配信・ホームページ・ブログを利用したの情報提供
-----	---



ぴよぴよファーム



焼き芋大会



子育てひろば「親子 de プラレール」



親子で運動あそび



ぴよぴよサッカー



親子 de ヨーガ

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a. 内容

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。平成 29 年度放課後児童クラブ登録児童数 33 名。自由来館業務に関しては、登録児童以外の 1 年生から 6 年生までの児童及び中学生、高校生

b. 各種活動行事

- ・各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
 - ・工作タイム……身近な材料などを使い、簡単に楽しい工作を実施。
 - ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
 - ・お話しタイム……お話ボランティアさんによる楽しいお話の時間。
 - ・ティータイム……簡単なおやつを自分で作ってみんなと楽しく食べる。
- ☆その他、折り紙タイムやお茶会など楽しい行事を多数実施。

⑥ 次世代育成支援

育児ボランティア 育成支援	・ 地域にある大学を中心にした学生ボランティア育成支援 ・ 子育て経験者を中心とした育児ボランティアサークルの育成支援
------------------	--

⑦ 地域交流

お話し会	地域のお話しボランティア「お話しポケット」によるお話し会を開催。活動を通じて子どもたちと地域の方々との交流を図る。 毎月 1 回開催。
デイサービス「うさぎ座」慰問交流会	学区内にあるデイサービス「うさぎ座」との慰問交流。世代間交流を通じて思いやりの心や、やさしい気持ちなど、子どもたちの心の成長を育む 年間 1 回実施
福寿会交流	地域で活動している福寿会との交流。ゲートボールやグラウンドゴルフなどの活動を通じて、地域の世代間交流を図る。 年間 1 回開催

⑧ 中高生への支援

+You (プラス ユー)	中高生の居場所作り事業 16:30以降の時間、クラブ室以外のスペースを中高生に開放。 ボランティアではなく、自分たちの「居場所」として施設の活用を促す。
------------------	--



お話しポケットさん読み聞かせの会



ティータイム
(サクサクパフェづくり)



デイサービス『うさぎ座』慰問交流会



老人クラブ『福寿会』交流会



スポーツタイム



**おわりの会（親子でカレーパーティー）
～1年の活動をスライドで振り返る～**

⑧ 那智が丘児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	24日	24日	26日	25日	26日	125日
登録児童 (放課後児童)	556名	584名	624名	554名	455名	2773名
自由来館 (小学生以上)	316名	330名	445名	391名	348名	1830名
乳幼児の親子 (サロン利用)	124名	225名	285名	238名	230名	1102名
行事 クラブ活動	131名	281名	319名	226名	118名	1075名
他団体 地域活動	62名	82名	95名	73名	44名	356名
合計	1189名	1502名	1768名	1482名	1195名	7136名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	24日	25日	24日	23日	96日
登録児童 (放課後児童)	509名	447名	548名	543名	2047名
自由来館 (小学生以上)	281名	339名	257名	219名	1096名
乳幼児の親子 (サロン利用)	197名	178名	219名	187名	781名
行事 クラブ活動	129名	124名	262名	245名	760名
他団体 地域活動	63名	229名	74名	38名	404名
合計	1179名	1317名	1360名	1232名	5088名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	23日	26日	72日	日
登録児童 (放課後児童)	419名	433名	488名	1340名	5558名
自由来館 (小学生以上)	230名	234名	376名	840名	3382名
乳幼児の親子 (サロン利用)	278名	344名	276名	898名	3053名
行事 クラブ活動	264名	251名	155名	670名	3243名
他団体 地域活動	15名	8名	46名	69名	1241名
合計	1206名	1270名	1341名	3817名	16477名

1日平均利用者数：約55名

(登録児：21名 自由来館児：12名 乳幼児親子：9名 行事等：11名 他団体：2)

<1年のまとめ>

- ・法人として那智が丘児童センターの指定管理運営も5年目を迎え、これまで築いてきた基盤をさらに発展させて、中学生の利用促進や従来小学生の利用施設ととられがちであった活動を、児童館本来の機能である0歳から18歳までの児童を対象とした取り組みをさらに地域に周知していくことが出来たように思う。
- ・職員間では、児童厚生員として幅広い年齢への理解と支援について専門性を高める必要性を感じ、児童センターが、遊びを通して児童の居場所としての機能を高めることへさらなる努力をしていくことも改めて確認し合った。職員同士のコミュニケーションを密に、互いに資質向上に努めていきたい。

活動名	内容・開催日・場所・回数等	ねらい
ホールDEあそぼうDAY	・ 5、9、11、2月実施 (10:30~11:30) ・ 親子ふれあい遊び、集団遊び、児童文化財鑑賞など	・ 親子での活動を通じて、親子同士や地域の様々な関係とのコミュニケーションを図る。 ・ 様々な活動を通し、子どもの成長を見守る関係づくりを図る。 ・ 遊びの紹介、伝承を行う。 ・ 親同士の交流を図りながら、子育ての不安を軽減する。 ・ 育児についての情報交換
工作あそぼうDAY	・ 4、6、12、1、2月実施 (10:30~11:30) ・ 簡単な工作の紹介	
お誕生日会	・ 月1回実施 (10:30~11:30) ・ 親子ふれあい遊び、手形など	
赤ちゃんのひろば	・ 10、2月実施 ・ 1歳未満のお子さんを対象	
赤ちゃんのつどい	・ 月1回程度実施 5、6、7、9、11、12、1、3月開催 ・ 1歳前半までのお子さんを対象	
双子ちゃんの広場・つどい	・ 10月紅茶講座実施	
幼児食Q&A	・ 年4回(那智が丘、下増田と共催) ・ 保健センター	・ 育児に関連する情報の提供 ・ 保健センターとの連携を図る
歯みがき指導	・ 年2回程度(那智が丘、下増田と共催)	
コッコの時間 ※ママコーラスやハンドマッサージ、手芸活動など形を変えて様々なリクエストに合わせた活動を実施。	・ 年数回実施 ・ 簡単な手芸、スポーツ、クッキングなど。利用者からのリクエストを聞きながら内容を検討していく。	・ 大人中心の活動の中で育児リフレッシュ、コミュニケーションを図る。
ぴよぴよガーデン	・ 日常的な活動 ・ サシェ作り1月実施 ・ 簡単なガーデニングを行う。	・ 自然と触れ合い、それらの大切さ、楽しさ、奥深さを体験する。
ぴよっ！とタイム	・ 不定期 ・ メール配信でのみお知らせ ・ お花見、シャボン玉遊び、水遊びなど	・ 季節などに応じた活動を楽しむ
育児相談 (もしもし子育て110番)	・ 月～金(9:00~17:00) ・ 電話相談、来所・サロンでの相談を受け付ける	・ 育児に不安や悩みを持つ親などから電話や面接を通じて相談を受け、話を聞いたり問題解決へのアドバイス等をしたりすることで、子育て支援の一端を担う。 ・ 必要な場合は関係機関への橋渡し、情報提供を行う。

訪問型子育て支援 (ホームスタート)		・随時 ・トラスティー会議 年2回 ・ビジター定例会 年2回 ・宮城県連絡協議会 年4回 ・東北エリア会議 8月名取開催	・育児に不安や悩みを持つ親などから申請を受け、事前研修を受けた子育てボランティアを派遣し、話を聴き、気持ちに寄り添うことで、子育て支援の一端を担う。 ・必要な場合は関係機関への橋渡し、情報提供を行う。
サークル 支援・育成	サークル情報 管理	・年度ごとに、サークル登録用紙を提出してもらう。 ・メールアドレス登録（代表者）	・市内へのサークル情報発信。 ・高館と共通で情報を管理し、入会希望者をサークル代表とつなぐ。
	子育てサークルの遊びのお手伝い	・各サークルにつき年2回 ・各活動場所にて各地域の児童センター職員が対応する。 ・物品貸出等、児童センターへのサポートを行う。	・サークルの要請に応じ、親子の遊びを支援する。 ・遊びの講習を行い、サークル活動のサポートをする。 ・サークル同士の交流、情報交換を図る。 ・ボランティアとの交流を図る。
	サークル代表への遊びの提供 (サークルサークル会)	・年5回（全体3回、地域毎2回） ・増田児童センター、高館あおぞら子育て支援センター	
	サークル交流 運動会	・年1回 10月12日 ・名取市体育館	
	自主サークル 結成のお手伝い	・要請に応じて	
育児講座	ラフターヨガ	・6月20日 ・那智が丘児童センター	・他参加者や講師とのコミュニケーションをリフレッシュや育児不安の解消のきっかけにしてもらう。 ・発達や、救急法等に關しての専門的な講話をきき、育児に役立ててもらう。
	育児講座 「0～1歳の子育てのポイント」	・9月12日 ・保健センター	
	ジャイアンと ぱぱコンサート	・11月1日 ・文化会館小ホール	
	オカリナコンサート	・2月7日 ・下増田児童センター	
関係機関 連携・支援	ファミリー フェスティバル	・年1回 3月6日 ・名取市体育館	・各子育て支援拠点施設を利用している親子、これから利用する親子の交流や情報の共有を図る。 ・市内の子育て支援に携わる人を知ってもらい、より良い支援活動に繋がっていく。
	なとりっこ	・年1回 10月28日 ・名取市文化会館	

	保健センター 「遊びのひろば」	・年9回 ・5、6、8、9、10、11、12、1、3月実施	・妊娠時から出産以降まで切れ目のない子育て支援のために情報交換を行う。 ・ひろば利用者への適切な支援に向けて連携を図る。
	個別ケースの情報交換	・子育て支援包括支援センターとの情報交換 ・遊びの広場終了後に開催	
	ボランティアグループ・ボランティア連絡会との連携	・遊びの支援、育児講座、サークル支援等に関わってもらう。	・子育てに関わる機関と情報交換を行い、一貫した活動が行えるようにする。
	ちいさななかまたち	・年1回発行	・子どもとの接し方、遊び方を保護者へ知らせる。 ・在園時、家庭保育児それぞれに役立つような内容の記事を発行。
	ぴよぴよ通信の発行	・月1回	・育児に役立ててもらえるよう、子育てに関する各種情報の提供をしていく。
その他	あそびうたのコンサート、人形劇鑑賞、子育てに関わる講座の開催等、子育てイベントの開催。	・わらべうたあそび（6、3月） ・COOP ママの食育講座（7、2月） ・はぐはぐさんコンサート（8月） ・親子クッキング（3月）	・行事の告知、子育ての情報発信。



工作お楽しみ DAY
「おもちゃづくり」



パパママお楽しみ DAY



ココの時間「紅茶講座」



クリスマス会



お誕生会



**ぴよっとタイム
シャボン玉遊び**

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a. 内容：児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。

平成29年度放課後児童クラブ登録児童数は、1年38名、2年30名、3年31名、4年13名、5年6名、6年4名、合計122名（平成30年3月31日現在登録数）。自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及び中学生・高校生。

b. 各種活動行事

◎各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。

◎工作タイム……身近な材料や廃材などを使い、簡単に楽しい工作を実施。

◎きりえタイム……カッターの使い方を知り、ステンドグラスのような素敵な作品を作る。

◎スポーツタイム…ドッジビーやユニホックなど、先生の指導を受けながら楽しく元気に体を動かす。

◎けん玉タイム…先生と一緒にゲームなどまじえながら、いろんな技に挑戦。

◎お話しタイム……地域の方による絵本・手作り紙芝居などの読み聞かせの時間。

◎午後の喫茶店……手作りおやつを喫茶店の雰囲気、みんなで楽しくいただく時間。

☆その他、一輪車検定、子どもフリーマーケットや季節の感じられる活動を実施。

⑥ファミリーサポートセンター

◎「育児のお手伝いをしてほしい方（利用会員）」と「育児のお手伝いをしたい方（協力会員）」が、地域の中で助け合いながら子育てをする会員組織・有償のボランティア活動。

◎利用のしくみ・・・利用するためには、会員登録が必要。

援助を受けたい方（利用会員）、援助を行いたい方（協力会員）はセンターに申し込むことによって会員となる。援助を受けることと行うことの両方を希望する場合には、両方会員になることもできる。

⑦地域交流など

◎（公民館共催事業）「夏休みちびっこチャレンジ」

【平成29年8月4日、9日 増田小学校体育館】

毎年、増田公民館と共催で地域の小学生が夏休みにさまざまなことにチャレンジすることをテーマに企画を実施。平成29年度は科学あそびをテーマにスライムづくりやクラフト飛行機作りなどを行った。

◎（震災復興支援）「神戸の大学生ボランティアチームの企画による縁日イベント」

【平成29年8月28日 増田児童センター敷地内】

大学生が主となって、祭りを企画。児童は各コーナーをまわって学生と交流。毎年恒例となっている。事業実施団体…神戸市社会福祉協議会、共催…大学コンソーシアムひょうご神戸。

◎（児童センター行事）「お化け屋敷」【平成29年9月17日 増田児童センター】

普段児童センターを利用している小学生、乳幼児親子だけでなく、幅広い方々に児童センターに足を運んでもらえるよう周知し、子どもから大人まで関わりを持ちながら楽しめる企画として行った。

◎（地域連携行事）「第29回 ますだこどもまつり」

【平成29年10月1日 増田小学校体育館】

地域の子どもたちを対象に10地区の子ども会と連携し行う毎年恒例の一大イベント。昔あそびや空き缶重ね、射的などさまざまな遊びを通してこども同士や地域の方々との交流を図る。

◎（児童センター行事）「新春 あそび初め」

【平成30年1月6日 増田児童センター】

地域でお世話になっているボランティアや民生員など地域の方々を招待して日頃の感謝を伝えると共に、独楽回しやダルマ落とし、羽つき、凧揚げなど室内外でお正月遊びを行い、交流を図る。

◎（児童センター行事）「あそびうたコンサート」

【平成30年2月19日 増田児童センター】

未就学児から大人まで皆で楽しめるあそびうたコンサートを実施。異年齢の子ども同士が交流を図りながら、あそびうたを通して同じ時間を楽しむ。

☆学童の様子☆



**スポーツタイム
「ボール遊び」**



けん玉タイム



お話タイム



**工作タイム
「セタかざり」**



**午後の喫茶店
「キャラメルカップケーキ」**



**の〜いよ〜会
「フリーマーケット」**



**児童クラブ遠足
「県民の森」**



クリスマス会



おおそうじ

☆ファミリーサポートセンター、地域交流などの様子☆



**ファミリーサポートセンター
協力会員養成講座**



**公民館共催
夏休みちびっこチャレンジ**



**第29回
ますだこどもまつり**



新春あそび初め



あそびうたコンサート



**増田婦人会
ボランティア協力**

⑧増田児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	25日	24日	26日	25日	26日	126日
登録児童 (放課後児童)	1856名	2079名	2293名	1964名	1731名	9923名
自由来館 (小学生以上)						
乳幼児親子	1222名	1443名	1538名	1442名	1074名	6719名
行事						
合計	405名	457名	601名	577名	311名	2351名
	528名	490名	685名	985名	736名	3424名
	4011名	4469名	5117名	4968名	3852名	22417名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	25日	25日	25日	23日	98日
登録児童 (放課後児童)	2038名	2084名	2063名	1906名	8091名
自由来館 (小学生以上)					
乳幼児親子	1306名	1335名	1383名	1159名	5183名
行事					
合計	479名	591名	585名	553名	2208名
	651名	956名	877名	687名	3171名
	4474名	4966名	4908名	4305名	18653名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	23日	27日	73日	297日
登録児童 (放課後児童)	1749名	1690名	1922名	5361名	23375名
自由来館 (小学生以上)	980名	832名	977名	2789名	14691名
乳幼児親子	372名	549名	497名	1418名	5977名
行事	508名	526名	800名	1834名	8429名
合計	3609名	3597名	4196名	11402名	52472名

1日平均利用者数：約177名

(登録児：79名、自由来館児：49名、乳幼児親子：20名、行事等：28名)

平成28年度 名取市ファミリーサポートセンターの活動状況

1. 会員数について〈平成29年3月末現在〉

利 用 会 員	505人
協 力 会 員	131人
両 方 会 員	52人
合 計	688人

2 活動状況について〈平成28年4月～平成29年3月〉

内 容	回 数
保育所・幼稚園の登園前の預かり	0回
保育所・幼稚園の送り	99回
保育所・幼稚園の迎え	277回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	234回
学童の放課後の預かり	47回
放課後児童クラブの迎え	316回
放課後児童クラブ終了後の預かり	235回
子供の病気時の援助	7回
子供の習い事等の場合の援助	157回
保育所・学校等休み時の援助	98回
保育所等施設入所前の援助	0回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	69回
保護者等の求職活動中の援助	7回
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	1回
保護者等の外出の場合の援助	93回
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	1回
保護者等の家事、用事、リフレッシュ等の援助	27回
その他	3回
合 計	1671回

キャンセル回数	26回
---------	-----

⑨ 1年のまとめ

ぴよぴよハウスは、利用者さんとのたくさんの会話の中から聞こえる疑問や要望により、様々な活動や企画に展開することができた。中には利用者自らが講師となり週に1度のコースを行ったり、得意の手芸を教え合い1カ月かけてお子さんに帽子を手作ったりと1回きりではなく、継続して利用者同士が関わりを持つことで新たな関係作りに繋げることができた。課題としては、今まで少なかった午後からの利用者が増えてきたことにより、1日を通した支援の充実を図っていくこと。また、勤労感謝の日に開催した「パパママあそぼう day」では就労家庭からの反響も多かったことで、改めて就労家庭へ向けた子育て支援の仕方を検討する必要性を感じた。

学童では、放課後児童クラブ、自由来館共に利用人数は年々増えている。行事に関しては、それぞれに参加が多く、充実した活動を実施することができた。また、児童自らが計画に参加し役割を担い、児童センター活動への参画を図るよう取り組みも行うことができた。今後も地域のつながりを計りながら、子どもたちが主役となるような様々な活動を展開していきたい。課題としては、大人数の中で一人一人が自分の居場所を見つけられるように、一人一人の思いを大切に日常の関わり・行事を行っていききたい。

ファミリーサポートセンターは、今年度も担当職員のみならず職員間での連携を図り、関係施設との関わりを大切にしながら事業を進めることができた。今後は更なる協力会員の増員・スキルアップに向けて、広報等の工夫や交流会・研修会の充実を図っていききたい。

今後も職員と利用者の関わりだけではなく、同年齢・異年齢の利用者同士の関わり、地域とのつながりを大切に児童センターならではの活動を展開していきたい。

(3) 下増田児童センター業務委託運営事業

- ① 内容
- 実施日 : 年間を通じて実施
*日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く
 - 実施場所 : 名取市下増田児童センター
 - 従事者 : 常勤13名(臨時職員含む)、補助員2名(長期休みやイベント時など)
 - 受益対象者 : 0歳児から18歳までの児童及びその家族
放課後児童クラブ員(小学校1年生から6年生までの登録児童)

②運営方針

- a. 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
- b. 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
- c. 異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。
- d. 地域活動の育成助長を図っていくようにする。
- e. こども及び家族福祉に関わる団体・機関とのネットワークを育み、子育てを地域で見守り、応援し、支え合う子育ての環境作りに取り組む。

③ 目 的

- a. 生活や遊びを通して
 - ・組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 - ・いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 - ・ルールを身につける。
 - ・異年齢との交流を深める(思いやり・協調性を養う)。
- b. 安全に過ごす・・・危機管理意識を持つ。

④ 保護者支援・子ども乳幼児への支援

活動名	内容・開催日・場所・回数等	ねらい
ぴよぴよタイム ・年に8回開催 (参加延べ人数304名 (10:30～11:30)) ・親子ふれあい遊び、集団遊び、工作、児童文化財鑑賞など		・親子での活動を通じて、親子同士や地域の様々な関係とのコミュニケーションを図る。 ・同じ学年の子どもを持つ保護者同士の繋がりをつくり就学後の関係づくりに活かしていく。 ・様々な活動を通し、子どもの成長を見守る関係づくりを図る。 ・遊びの紹介、伝承を行う。

保護者支援「コックタイム」 ・年3回開催（参加延べ人数27名） ・育児リフレッシュや保護者同士のコミュニケーションを図る場として、保護者目線での活動を実施。時にはティータイムを交えながら和やかな時間を過ごす。		・育児リフレッシュ、大人同士のコミュニケーションを図る場を持つ。 ・大人も子どもも、様々な経験をするにより、知識を深め、楽しみながら充実した遊びの環境を皆で作上げる。それにより、おもちゃを大切に使う気持ちを育む。 ・悩みや思いを出し合い、それらを共有することでお互いを理解しあう場を持ち、考え進む機会を得る。 ・子ども達におもちゃを通しての様々な経験を提供出来る環境作り。	
ぴよぴよ農園 ・年3回開催（延べ参加人数54名） ・児童センター内の畑を利用した「土に触る、植物を育てる、収穫する、食べてみる」という農作業体験 ・農作物に関することで、昔からの生活の中での知恵を知る。 ・食育の場		・土や自然とふれあい、それらの大切さ、楽しさ、奥深さ等を体験する。 ・育児リフレッシュ。 ・農作業の基礎を知り、自然の営みと生活との関わりを知る ・「育てる」「育つ」・・・という意味合いを親子共々、体得する。	
幼児食Q&A ・年4回開催 ・1歳～1歳半を対象。		・保健センターとの連携を図りながら、育児中の疑問などを気軽に質問できる関係をつくる。 ・発達に応じた、専門的な知識を聞く機会を設ける（那智が丘・増田との共催）	
歯みがき指導		・年2回程度開催。 ・0～1歳、1歳半～を対象。	
育児相談 （もしもし子育て110番）		・月～金 ・電話相談、来所・サロンでの相談 ・H28年度の相談件数8件	
サークル支援・育成	子育てサークルの遊びのお手伝い	・年2回実施（参加延べ人数44名） ・各活動場所にて	・サークルの要請に応じ、親子の遊びを支援する。 ・遊びの講習を行い、サークル活動のサポートをする。 ・サークル同士の交流を図る。 ・活動拠点の児童センター職員との繋がりをつくる。
	サークル代表への遊びの提供（サークルサークル会）	・年6回開催（参加延べ人数101名） ・増田児童センター	
	サークル交流運動会	・年1回 10月12日（参加人数100名） ・名取市体育館	

	自主サークル 結成のお手伝い	・要請に応じて	
子育て支援連携事業	育児リフレッシュ ラフターヨガ	・ 6月20日 (参加者25名)	・他参加者や講師とのコミュニケーションをリフレッシュや育児不安の解消のきっかけにしよう。 ・発達や、救急法等に関する専門的な講話をきき、育児に役立ててもらおう。 ・各センターを利用している親子、これから利用する親子の交流や情報の共有を図る。 ・市内の子育て支援に携わる人を知ってもらい、より良い支援活動に繋げていく。 ・子育てに関わる機関と情報交換を行い、一貫した活動を行う。
	ジャイぱぱコンサート	・ 11月1日(金) (参加者87名)	
	オカリナ童謡コンサート	・ 2月7日 (参加者53名)	
	ファミリーフェスティバル	・ 3月6日 (参加者383名)	
関係機関 連携・支援	なとりっこ		・年1回(10/29(土)) ・名取文化会館
	保健センター 「遊びのひろば」	・年9回 (参加延べ人数 650名)	
	ちいさななかまたち	・年2回発行	
	ぴよぴよ通信の発行	・月1回	・育児に役立ててもらえるよう、子育てに関する各種情報の提供。
その他	たまごタイム	・月3回程度開催 (15分程度) *SP企画8回 (延べ参加人数 160名)	・行事の告知、子育ての情報発信。
			・児童センター職員による絵本の読み聞かせや体操など、楽しみながらこどもたちとの関わりや子育てに対するアドバイスを実施する。 ・担当だけでなく、センター職員との交流を促進する。

☆子育て支援の様子☆



**ぴよぴよタイム
「オマチマンコンサート」**



ハロウィンパレード



お芋掘り



お茶っこのみの会



キッズサッカー



クリスマス会

⑤ 放課後児童クラブ及び自由来館

a.内容

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。平成29年度下増田放課後児童クラブ166名。(平成29年3月末日登録現在)
自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及び中学生、高校生

b. 各種活動行事

- ・各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
 - ・工作タイム……身近な材料などを使い、簡単で楽しい工作を実施。
 - ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
 - ・お話しタイム……お話ボランティアさんによる楽しいお話の時間。
 - ・ティータイム……簡単なおやつを作ってみんなと楽しく食べる。
- ☆その他、ぬりえコンクールやチャレランなど楽しい行事を多数実施。

☆学童の様子☆



けん玉タイム



スポーツタイム



ティータイム



ハロウィンフェスタ



大掃除



フリーパーク

⑥ 下増田児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	21日	20日	22日	22日	23日	108日
登録児童 (放課後児童)	2617名	2718名	2851名	2493名	2199名	12878名
自由来館 (小学生以上)	654名	716名	790名	1005名	972名	4137名
乳幼児親子	350名	422名	533名	397名	177名	1879名
行事	315名	213	53名	328名	143名	1052名
合計	3936名	4069名	4227名	4223名	3491名	19946名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	21日	21日	20日	20日	82日
登録児童 (放課後児童)	2473名	2707名	2650名	2356名	10186名
自由来館 (小学生以上)	523名	619名	551名	534名	2227名
乳幼児親子	541名	984名	511名	443名	2479名
行事	455名	776名	682名	576名	2489名
合計	3992名	5086名	4394名	3909名	17381名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	20日	19日	22日	61日	251日
登録児童 (放課後児童)	2153名	2147名	2471名	6771名	29835名
自由来館 (小学生以上)	411名	433名	551名	1395名	7759名
乳幼児親子	518名	648名	514名	1680名	6038名
行事	593名	418名	880名	1891名	5432名
合計	3675名	3646名	4416名	11737名	49064名

1日平均利用者数：約196名

(登録児：119名、自由来館：31名、乳幼児親子：24名、行事等：22名)

⑦ 1年のまとめ

児童センターとして開始してから2年目となり、利用者の中でも自由来館利用が周知されてきたように思う。放課後児童クラブの登録ニーズも依然として高く、総利用人数も増加傾向にあり、利用人数に対して限られたスペースの中でこどもたちが安心して自由に遊ぶことの出来る環境をいかに育んでいくのが課題となっている。職員間でリスクとハザードなどの視点をしっかりと持ち、安心して過ごすことの出来る環境作りに取り組んでいきたいと思う。

また、地域連携として公民館祭りの中で昔遊びのブースを児童センターとして設け、地域の方々とともに交流を図りながら実施している。ハロウィン等の季節の行事でも地域に協力を頂きながら実施するなど、今後も顔の見える関係性の構築を図っていききたいと考えている。今後も児童センターとして地域とのつながりを深めていけるよう発信していききたいと思う。

利用状況としては、現在、乳幼児・小学生までの利用は定着しているが中高生の利用が定着していない状況がある。0～18歳までの全ての児童を対象とする児童センターとしては、今後中高生にとっても居場所となれるような環境整備や取り組み、情報発信が必要となる。そのような視点もしっかりと持ち、そして地域とのつながりを育みながら、遊びを通した児童の健全育成を図っていききたいと思う

(4) 本郷小規模保育所業務委託運営事業
(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

<活動に関する事項>

① 事業名 : <小規模保育所管理運営業務委託>

主な管理運営業務: 保育の実施に関する業務

特別保育事業の実施に関する業務

ア 延長保育事業

イ 地域子育て支援センター事業

保育所の維持管理に関する業務

名取市が必要と認める業務

開所時間 : 月曜日から金曜日まで 午前7時から午後7時まで

土曜日 午前7時から午後6時まで

* 日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く

実施場所 : 名取市本郷小規模保育所

従事者 : 施設管理者 1

0歳児 3対1

1・2歳児 6対1

子育て支援事業 2

フリー 1

延長保育担当 1

調理業務 2

対象者 : 0歳児から2歳児までの乳幼児及びその家族

<本郷小規模保育所活動内容>

【小規模保育所事業】

1. 保育所保育方針

十分養護の行き届いた、家庭的で温かいぬくもりのある雰囲気の中で、一人ひとりの子どもの思いを大切に、愛されていると感じることのできる保育を通し、将来を生き抜くたくましい心と体の基礎を培う

2. 保育所保育目標

○子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力(生きる力)の基礎を培う

○入所する保護者に対し、その意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育の特性や保育士等の専門性を生かして、その援助にあたる。

平成29年度 年間行事

月	保護者参加の行事	子どものみの行事
10	2日（月）入所式	2日（月）入所式 18日（水）内科健診 24日（火）歯科健診
11		28日（火）第1回総合避難訓練
12		25日（月）クリスマス会
1	18日（木）保育参加懇談会	
2		2日（金）豆まき会
3	24日（土）ティーパーティー 2歳児の親子のみ	2日（水）ひな祭り会

○毎月（避難訓練・身長体重測定）を行います。

○毎月集会を行い、児童文化財や集団遊びを計画し行います。

地域の在宅親子の参加も積極的に受け入れて行います。

○誕生会は各クラスで行います。

保育所保育の様子



0歳児クラス おひさま組



1・2歳児クラス にじ組



【地域子育て支援センター事業】

1. 設置目的

子育て中の親の孤独感や不安感を緩和できるよう保育士が寄り添い支え、子どもの健やかな育ちを見守り、育むことを目的とした母と子の居場所づくり。

2. 対象者 : 未就学児とその保護者

3. 実施内容 : 乳幼児及び保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行なう

3. 利用状況

子育てひろば (きららルーム)	- 育児の中で親子共に心安らげる場所を提供する。 - 育児についての不安や悩みを共有する。 - 月曜日～土曜日 9:00～12:00 14:30～17:00 (日曜日、祝日、年末年始を除く) *年間利用者数は別表1参照。
ファミリー フェスティバル	市内の子育て支援センターと連携し実施する子育て支援行事。 年間1回 *高館保育所子育て支援センター及び児童センターと連携し、実施している。
育児リフレッシュ (ポップコーンタイム)	日ごろの思いを言葉に出すことで共感、共有し一人ではないことを確認しホッとできる時間を確保。 *参加費 無料 ＜ママたちのしゃべり場＞*おしゃべりタイム 1回開催
遊びの広場 「きららタイム」	- 親子触れ合い遊びや集団遊びなどの活動を通じて、子どもとの関わり方、子育ての楽しさを伝えていく。 工作、クリスマス会など実施。 - 単独1回開催。 小規模保育所行事と共同4回開催
子育て情報誌の発行 「きらら通信」	- 情報誌を通じて、子育てに関わる情報を地域へ伝える。 - 毎月1回発行
その他	○保健センター・那智が丘・増田・下増田児童センター連携事業 ○子ども支援課連携：情報紙「ちいさななかまたち」発行

	10月	11月	12月	計
開館日数	9日	24日	23日	56日
乳幼児の親子 (ひろば利用)	19名	28名	136名	183名
行事	6名	28名	47名	81名
合計	35名	56名	183名	364名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	23日	23日	69日	125日
乳幼児の親子 (ひろば利用)	218名	161名	532名	911名	1094名
行事	43名	93名	395名	531名	612名
合計	261名	254名	927名	1442名	1706名



**きららタイム
クリスマス親子でケーキ作り
完成後はパラバルーン**

**保育所行事参加
豆まき会**



**ママ達のしゃべり場
ポップコーンタイム**

ひなまつり親子茶話会

お昼寝アート

【次世代間交流等事業】

【交流事業目標】

- 1 地域の人々との交流を通して開かれた保育所づくりをする。
- 2 高齢者と様々な触合いを通して思いやりや優しさの基礎を培う。
- 3 交流遊びを通して地域の子育て親子の仲間作りや育児支援を担う。

【年間計画内容】

月	活 動	内 容	対 象
1 2 月	・クリスマス会	・サンタクロース役をして 貰う (老人デイサービスふるさと 職員) ・デイサービス利用者さんと の交流	老人デイサービスふるさと 利用者 地域育児中の親子（在宅母 子） おひさま組・にじ組親子

【交 流 相 手】

- ・デイサービスセンターふるさと



**デイサービスセンター
ふるさと
利用者の皆さんと共に**



**デイサービスセンターふるさと
代表 越河 英知さん扮する
サンタクロース**

＜平成29年度のまとめ＞

小規模保育所と支援事業を併せ持つ施設として、保育所保育においては、子どもの最善の利益を考え、一人ひとりを愛する温かい雰囲気保育に取り組んできました。2歳児で移行して行った保護者の中には、「こんなに環境の良い所で、こんなに広いのだから、退所するまでいられるといいのに」と言って頂き、半年間ではありましたが、保護者にとっても、温かく受け入れてもらえたと感じて頂ける保育の姿勢が伝わったように感じられ嬉しく思っている。

地域子育て支援センター事業としては、小規模保育所のゆったりとした雰囲気の中で、保育士が常に寄り添い母親の思いに耳を傾け、母親の居場所作り、乳幼児の遊び場、育ちの場として取り組んできました。特に小規模保育所内という環境をメリットと捉え入所児と一緒に遊んだり、保育所行事に加わってもらったり、食事の風景など実際に見ながら、離乳食への不安や疑問に答えてあげることで、母たちの不安解消につながっている取組となっている。

また、世代間交流では地域老人デイサービスセンター「ふるさと」職員扮するサンタクロースや利用者さんを招いてクリスマス会を行ってきました。半年間という短い期間で、周知、交流活動など手探り状態ではありますが、今後も地域のニーズを把握しながら地域の老人や親子をつなぐ役割を担っていることを念頭に、小規模保育所のメリットを生かした子どもを真ん中に、共に喜びあえる取組の在り方を考えていきたいと思う。

2. 次世代育成事業

(1) 子育て支援者スキルアップセミナー

「インプロワークショップ&交流会」

講師：伊坂 亮氏（ロクディム）

日時：平成29年7月22日～23日

会場：東京第一ホテル岩沼リゾート

参加人数：12名

成果・課題

学校や企業の人材育成にも用いられているインプロワークショップを実施することで、その場その瞬間の対応力や建設的な対人関係の構築に役立つスキルの向上が参加者同士図ることが出来たように思う。また、交流会ではそれぞれの現場・立ち位置の中で通常では相談が難しいような話も出来て有意義な会となった。

今後も団体の枠を超えた子育て支援者同士の学び合いの場を作っていきたいと思う。

3. 地域連携事業

(1) 他団体との連携・協力

① 内容

県内外の子育て支援を目的とする支援団体へ、協力団体として活動協力を実施（会場の設定、広報活動、講師派遣、ボランティアスタッフとして活動協力実施）

① 実績

- ・宮城県子育てサポーター・サポーター養成講座 講師
- ・名取市子育てサポーター養成講座関係 講師
- ・なとセンフォーラム パネルディスカッションコーディネーター
- ・名取市母子保健協力会員研修会 講師
- ・岩沼市子育て応援者養成講座 講師
- ・石巻市父子手帳作成委員会 オブザーバー
- ・のびすく仙台・若林 パパサロン講師
- ・名取市内公民館講座 講師
- ・幼稚園・児童館・保育園・市民センター 子育て講座・育児講座 講師
（東長町児童館・木町通児童館・登米市迫新田保育所等）

② 成果・課題

取り組みを通じて法人の活動や、子どもたちの育ちに関わる想いを地域に伝えることが出来た。他団体との連携を深め交流していく中で知り得た知識や情報を法人事業で活かしていくことが出来ると感じている。活動を通じ、法人の理念や方向性をあらためて確認していき、基盤の強化にもつなげていきたいと思う。

Ⅲ 1年のまとめ

法人として事業を開始から7年目を迎え、名称変更や小規模保育事業の実施など大きな変革もあった。そして法人の職員として業務に取り組むスタッフもさらに増えてきた。それだけに、法人の理念や方向性を共有し、事業の見直しを図りながら基盤を強化に取り組んでいくことが大切と感じる。実施する1つ1つの事業の充実を図っていく上でも、お互いの立ち位置、取り組み方を尊重し、また職員として取り組むスタッフはさらに専門性を高めて取り組んでいく。